

開催記録

名 称	第 5 回 振興計画町民検討会議
開催日時	平成 21 年 12 月 2 日 (水) 午後 7 時～午後 9 時
開催場所	会津美里町役場高田庁舎 第 6 会議室
出席者	<p>【委 員】</p> <p>(A 班) 歌川浩司、大竹久一、片山紀彦、片山玲子、長谷川啓</p> <p>(B 班) 佐藤正人、石川栄子、野中憲子、笹川壽夫</p> <p>(C 班) 荒井弘之、渡辺秀造、石橋史敏</p> <p>【事務局】</p> <p>佐藤総合政策課長、木崎総合政策係長、渡部朋宏 遠藤香 (総務課)</p>
議 題	<p>①政策の確認</p> <p>②班別検討「施策の組立」</p>
資料の名称	●「政策の確認・施策の組立」
記録方法	<input type="checkbox"/> 会議全文 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 政策の確認</p> <p>《質疑》</p> <p>Q 町長が 2 期目の公約 (広報紙) で言っている「協働」はどの政策に位置づけられるのか？</p> <p>A (事務局) 協働はあくまで手法なので、事案ごとに異なってくると思われる。あえて位置づけるとすれば「町民主体の地域づくり」「効率的で効果的な行材運営」あたりか。</p> <p>Q 対象には、すべて行政が関わってくるのではないか？</p> <p>A (事務局) 対象は、その政策において働きかける相手を指すもの。行政は当然すべての政策に関わってくるが、必ずしも働きかける相手ではない。なお、次期計画においては、政策・施策・事務事業すべてにおいて、対象・意図を明確にすることとしている。</p> <p>※原案の内容で了承</p>	

## (2) 班別検討「政策の組立」

別添「ワークショップ結果 (H21. 12. 2)」参照

### 3. その他

- ・次回の会議日程

平成 21 年 12 月 16 日 (水曜日) 午後 7 時～9 時 高田庁舎第 3 会議室

- ・広報 1 月号で振興計画策定に向けた取組みの特集を組みたい。委員数名からまちづくりに対する思い等について取材したい → 片山、野中、佐藤

### 4. 閉会

# 振興計画町民検討会議ワークショップ結果(H21.12.2)

政策名	班名	今の症状は？	原因は何？	施策名(何をやる？)	
環境共生のまちづくり	A	森林の荒廃	温暖化	自然エネルギーの推進	
		森林生態系の衰退	乱開発		環境条例の制定
		稀少生物の乱獲	モラルの低下		
		外来生物を放してしまう			
		遊休農地の増加	後継者不足	循環型農業の確立	
				地産地消事業の確立	
			農作物の価格低迷	農産物価格補償	
		行き過ぎた治水	税金が有効に使われていない	地方自治の確立	
		ゴミの不法投棄	不要な林道		
河川の汚染	下水の不備	下水の整備			
安全安心な暮らしづくり	B	病気になることが不安	診療科目が少ない	医療環境の整備充実	
			時間外の診察が受けられない		
		病気になることが不安	専門の医師がいない	福祉サービスの啓蒙(雰囲気づくり)	
		家庭での介護がづらい	介護福祉のサービスに抵抗ある人が多いから		
			近所でのコミュニケーションがとれていないから		
		空家(廃工場)がある	後継者がいないから	産業の振興	
		高齢者だけの住宅が多い		雇用の促進(解消)	
		交通弱者の手段が少ない	バス路線が廃止されたから	あいあいタクシーの広域化	
			あいあいタクシーの使用が不便だから		
		高齢者が安心して歩けない	自転車道がないから	生活道路の整備(充実・改善・確保)	
防犯灯が少ないから					
見通しの悪い道路がある	歩道が狭いから				
冬の道路工事が多い	除雪が地域に偏っているから				
活力ある産業づくり	A	農業・商業・工業の衰退	旧三町村の協力が希薄	美里町全体の振興計画の具現化	
				農業基盤の確立(地場産業)	
				グリーンツーリズム(コミュニティの再生)	
				自然を生かした里山づくり	
		工業団地が赤字	長期展望がなかった(広域・交流)	広域の交流を考える	
	団体・個人が自立していない	工業団地を住宅に！			
	補助金をもらったから				
	補助金に対する甘え・慣れ				

## 振興計画町民検討会議ワークショップ結果(H21.12.2)

政策名	班名	今の症状は？	原因は何？	施策名(何をする？)
こころ豊かな人づくり	B	優秀な人材がない	優秀な指導者がいない	教育委員会の充実
		いじめがある	教え方(しつけ)が分からない	家庭教育の充実(含地域)
		コミュニケーションが下手		
		町民の関心が薄い	広報の仕方が悪い	広報方法の改善
		町の行事が分からない(学習事業)	行事の内容に魅力がない	町ブランドの構築
		学びの場が少ない	文化活動の場がないから	文化活動の拠点づくり
		教育環境がよくない		
		図書館が活用しにくい		
		文化活動の発表の場がない		
		生き生きとした高齢者が少ない	高齢者の集いの場がない	
町民主体の地域づくり	C	地域の問題に無関心	住民が集う場がない	施設・空家の有効活用(フリーに集える空間)
		コミュニティの崩壊	リーダー不足	コミュニティの再構築 地域リーダーづくり 新たな町おこし(若者活性化プロジェクトなど)
		役所まかせが多い(主体性がない)	人まかせ	ネットワークの再構築 NPO法人や社会的企業の設立
		災害に対する地域の備えがない	会津に大きな災害が発生しないと思っている	共同体としての再構築
		農家集落では若年層がつきあいを煙たがっている	兼業農家・サラリーマン化(旧来の方式では限界)	自治会の新たな枠組みの構築
		まちには個々の知り合いのコミュニティだけ	互いにつきあいを避けている	住民自らの問題解決を図る組織の構築
		老人が孤独になりがち		
効率的効果的な行財政運営	C	財政状況が厳しい	収入が少ない 借金が多い	行財政運営にビジネスマネジメントを持ち込む 財政の健全化
		無駄なものが多い	時代のニーズに関わりなく一度やったらやめられない 長期プランニングの欠如(明確な方針がない)	責任の明確化(検証)
		施策が総花的	町の主体性がない	投資を集中する 町民との協働による施策の実施
		国・県の補助金頼りの施策の実施になっている		
		観光・特産品開発がうまくいっていない		
		災害・非常時に対する備えがない		
		関心が薄い	仕組みが分かりづらい	町民が関心を持ってもらう仕掛けが必要